

松戸市“行財政改革計画”

# 中・長期的な改革アクションプラン

(市役所の構造的な改革を図る工程表)

平成17年7月

松戸市 財務本部 企画管理室



















行財政改革計画”中・長期的な改革アクションプラン(改革工程表)”

改革項目	改革の方針	具体的手段	所管	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
協働(外部マネジメント)											
7.協働の推進 市民と行政の協働を推進するための仕組みをつくり、協働を進めます。	市民と行政が協働に取り組む視点を整備します。	市民活動センター開設	市民環境			準備	開設				
	市民と行政の協働についての基本方針を定めます。	パートナーシップ条例制定	市民環境				準備	組織化	制定	施行	
	市民と行政が協働事業を推進するための基本姿勢などを具体的なルールとして定めます。	協働ルールの策定	市民環境						準備	策定	
	市民と行政が協働して設定する「まちづくり指標( )」について研究します。	まちづくり指標の研究	総務企画							研究	
8.市場メカニズムの活用 「官から民へ」を基本とした行政経営を行いサービス提供の生産性を高めます。	「公の施設」の管理については指定管理者制度を積極的に導入するとともに外郭団体の見直しを行います。	指定管理者制度の導入	総務企画					検討	準備	実施	
	今後の大規模な施設の建替え、新設にあたってはPFI( )の導入を検討します。	事業の委託化	総務企画	(ごみ収集)(電算処理)等							
	公営企業の見直しにあたっては地方独立行政法人化も視野に入れ、検討します。	外郭団体の見直し	総務企画					福祉公社	研究		
	市場メカニズムをさらに活用するための新たな手法等について研究します。	公営企業の見直し	公営企業						検討		
		新たな手法の研究	総務企画						研究		
9.市民との情報共有・協働の実践 市民と行政が協働を实践するために必要な情報を共有するとともに、協働事業の実践に取り組みます。	市民が政策形成の過程に参加する機会を作ります(パブリックコメント( )等)。	パブリックコメント制度等の導入	総務企画						検討		導入
	町会等地域の自治力の向上を支援します。	コミュニケーション単位の見直し	総務企画 市民環境						調査	研究	
	ITを活用して市民との情報共有を図ります(CRM( ))。	インターネットを活用した情報共有	総務企画	一部導入					検討		
	ワークショップ( )方式などを活用し、市民と行政がともに主体となる事業を増やします。	ワークショップ方式による事業推進	各本部	(川づくり)(パートナーシップ)等							
	公益事業を行うNPO団体等への支援の仕組みを研究します。	NPO支援制度の研究	市民環境							調査	研究

まちづくり指標：まちづくりの方向性と目標値を市民と共に策定し、協働によるまちづくりをすすめるもの

P F I (Private Finance Initiative)：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法

パブリックコメント：行政機関が政策の立案等を行う際にその案を公表し、広く国民・事業者等から意見や情報を提出していただき、提出された意見を考慮して最終的な意思決定を行うというもの

CRM(Customer Relationship Management)：市民の視点から個人情報を一貫して管理し、市民からの各種請求や問い合わせに対して効率的に対応して、市民一人ひとりの満足度を高めるためのサービス

ワークショップ：参加者がともに討議したり現場を見たりするなどの協働作業を通じて、参加者の前向きな意欲を引き出し、お互いの考え方や立場の違いを学び合いながら、提案をまとめる手法であり、その集まり(場)のこと

行財政改革計画”中・長期的な改革アクションプラン(改革工程表)”

改革項目	改革の方針	具体的手段	所管	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
<b>情報公開</b> 10.情報公開 市政情報を市民にわかりやすく積極的に公開するとともに、情報セキュリティの確保に努めます。	ITを活用するなどして積極的に市政情報を提供します。 政策形成過程の情報を可能な限り公開します。 情報漏洩等セキュリティを強化します。	情報公開条例の施行	総務企画			改正					
		ホームページのユニバーサル化	総務企画				ガイドライン	推進			
		会議録の情報提供	総務企画			市議会	推進				
		各種会議の公開	総務企画		推進						
		個人情報保護条例の施行	総務企画								
		情報セキュリティの推進	総務企画					ポリシー	推進		

ユニバーサルデザイン:年齢や身体の状態等に関わらず、誰もが安全に使いやすく、わかりやすい、暮らしづくりのために、ものや環境・サービスを設計デザインすること

## おわりに

「松戸市行財政改革計画」中・長期的な改革アクションプランによる構造的な転換の方向性は、「選択と集中」が行える経営、いわゆる戦略マネジメントへの転換を指向しています。これは、「あれもこれも」から「あれかこれか」への転換とも言い換えられます。次期実施計画の策定にあたって、SWOT分析など戦略計画手法を活用することなどが、その代表的な例と言えます。

こうした改革の一つ一つの積み重ねにより、それぞれの政策領域ごとに、より大きな政策転換につなげられ、需要が無くなった事業からの早期撤退、公平性が損なわれた事業の是正、事業の中止や縮小から獲得した資源を活用した新たな行政需要への早期対応が実現できる経営システムが確立できるものと考えています。総合計画に掲げる本市のまちづくりの基本方針「住んでよいまち・訪ねてよいまち」の実現に向け、着実に改革を進めて参ります。

総合計画、行財政改革計画とこの中・長期的な改革アクション・プランとの関係は、次の図3のとおりです。

戦略計画手法など戦略マネジメントについては、本市行財政改革推進会議の補助組織として、平成16年9月に設置した中堅・若手職員からなる「経営戦略策定支援プロジェクト」から平成17年2月に研究報告書が出されています。詳細については、プロジェクト報告書を参考にしてください。

図3. 総合計画、行財政改革計画及び中・長期的な改革アクションプランの関連について

